



そよかぜわたる あさのまど はたらく手のひら あわせつつ

南無阿弥陀仏となれば しんらんさまは にこやかに

わたしのとなりに いらっしゃる

「しんらんさま」より



鈴鹿組二十五日講が亀山市  
市瀬西願寺様にて勤修され、  
沢山の参詣で賑わいました。  
ご講師岐阜教区光宗寺辻良尚師  
ご法話を熱心に聴聞されました。

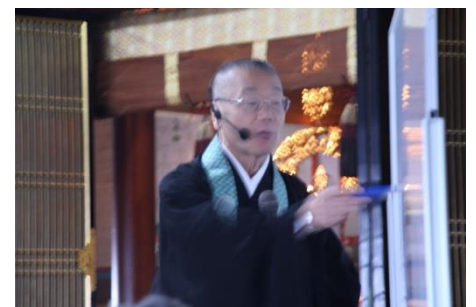


10月12日(月)、13日(火) 秋季永代経法要が勤まりました。  
遠近より有縁の方が多々ご参拝、ご聴聞なさいました。

ご住職より今年のテーマは何でしょうかと聞かれてすぐ「阿弥陀  
さま何処にいるの？」って出させていただいた。実際「いつでも  
阿弥陀さまと一緒に話を聞いても、見えないし、実感がわかない  
」という方がおられます。だからこそ、私のうえに「ナモアミ  
ダブツ」と言葉の仏さまとなって今、私にはたらいてくださるの  
です。「そのままのあなたをひき受けたから、まかせよ」と常に



「易往而無人」＝「無量寿経」  
疑い(自力)を誠(いまし)め、  
真実信心の得難さを示して  
います。



いたりどいてくださってあります。そのお心を「慈悲」と顕される  
のです。でも仏さまの慈悲は人間には解らないし、人間の世界には無  
いので、いちばん近いのが「親の愛情」として喩えられます。  
しかし、なかなか気づかないのです。私たちは、自分さえよかったら  
いいという「我執」によって生きていて、結局は自分が苦しめられて  
いる。これが地獄です。

源信和尚はそのことを「我、今帰するとことなくして、  
孤独にして同伴なしこれを地獄という」と教えてくだ  
さいました。居場所も無く、安心して帰っていける場  
所も無く、一人ぼっちで、自分を認めてくれる人も  
無いし、寄り添う人も無いということです。そして地  
獄は自分自身で作り出していくものです。  
だからこそ、あなたをほっておくことができないと、  
いまここに、いつでもどこでも、親が親であるために  
寄り添い、はたらいてくださってありました。





永代経法要のあと正覚寺様有縁方々との懇親会が持たれました。改めて深いご縁を感じます。戦後存仁寺は鈴鹿組に入りましたが、それ以前は「勢賀組」といわれ今の伊賀、鈴鹿、中勢組が一緒になっていた頃は津の組に入っていたのです。

報恩講のお参りの折には現在の芸濃、関、亀山の寺院と共に津の何カ寺かのお付き合いもあったそうです。私の代になり、こうした



様々なであいを通して、関わりあう不思議さいのちはどこかでつながっているのだということをはだで感じるがあります。

これからも、であい、ご縁を大切にしていかななくてはならないと、あらためて味わったことでした。



先日妻友を伴いドライブを楽しみました。札幌の近郊の恵庭にて、蕎麦好きの私達は、昼食を頂いた後に、目的地の登別伊達時代村を訪れました。以前に京都の太秦映画村を夫婦で訪ねたことがあり、それ以外に時代村があることを知りませんでした。最近、テレビのC≡にて登別に時代村があることを知り一度訪ねてみたいと考えていたので、それを実現しました。何の予備知識も持たないで、同村を訪ねてビックリすることが多過ぎました。時代村は、太秦に負けない規模の広さです。登別伊達時代村にて、花魁ショーに出演する町人、お大尽遊びをする役に、観客の中から団中から男性客を選ぶのですが、此度はお客さんは私達三人のみ、それも男性は私一人です。当然に、その町人に私が選ばれて、お大尽遊びをする役を仰せつかりました。一瞬ですが気が動転しましたが、よし一丁遣ってみるかとの機になつて無事ショーを終えました。花魁を演じる俳優さんが、余りにも美しいので、お大尽遊びをする方の気持ち少しは解った気になりました。花魁ショーに飛び入り演技した貴重な体験が生涯の良い思い出になりました。(皆さん、是非一度、北海道へ遊びに来てください。見る処が沢山ありますよ。お待ちしております)

北海道 大島義勝さん

### 花魁ショー

登別伊達時代村を訪ねた

■十数年前に京都の太秦映画村を夫婦で訪ねたTVの時代劇で親れた町並と池に大いに感動偶然に、侍姿の北大路欣也と鉢合わせをした剣劇ショーにて、スターとの会話を楽しむ(何だ、昔おねえさんか、に笑いが弾ける)

■ドライブの途中に登別伊達時代村を訪ねた京都の太秦映画村に劣らない町並に驚いた忍者屋敷・からくり忍者ショー・妖怪屋敷色々なショーの軒が連なり大賑わい時代村(可愛い町娘の衣装に、かわいいねー)

■花魁ショーの最終演習の際に、観客席に着いた観客は、私達三人(二人)だけの花魁ショー太鼓持ちの指示に従って、扇子のセリフを熱演(あいよ、おーいーと泣く、合点承知のすけ)素人の大根役者が大汗を掻いての花魁ショー

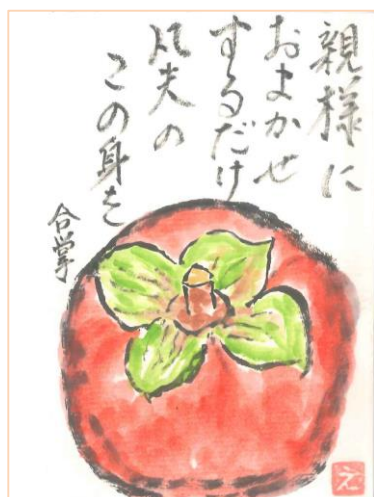
■ショーに参加して、少しはお大尽の心を知ったお酒は頂くが、お大尽遊びをしたことは無い未だかつて、花魁遊びを経験したことは無い人生一生に一度のお大尽遊びも悪くは無いもう一度、訪ねてみたい登別伊達時代村だ



西方に 光る芒野 浄土かな  
夢に逢う 亡夫の面影 菊の朝  
農道の一直線や 鰯雲

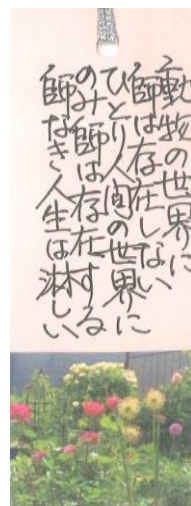
わだかまり 解けてスツキリ 天高し  
コスモスに 風やわらかく 遊びけり  
コーヒーの ただよう厨 秋深し  
独り居も 捨てがたきもの 水澄めり

落合登代子



報恩講の  
作品展示  
にご協力  
下さい

朝倉市  
森田瑛子  
さん



札幌市  
大島光子  
さん



暦の上ではもう冬をむかえます。おお、少し冷えてきましたか。炬燵を出す時期ですね。炬燵に入ると温かさを身に感じ「ホッ」とします。でも、身だけでなく心もホッとさせていたいただきたいです。報恩講のシーズン聴聞を通じて、あなたの心にお慈悲のぬくもりを。くれぐれも、お大事にてお念仏ご相續。なんまんだぶ、なんまんだぶ